

通貨選択型ダイワ先進国リートα

円ヘッジコース（毎月分配型）

通貨セレクトコース（毎月分配型）

運用報告書（全体版）

第102期（決算日 2021年1月13日）
第103期（決算日 2021年2月15日）
第104期（決算日 2021年3月15日）
第105期（決算日 2021年4月13日）
第106期（決算日 2021年5月13日）
第107期（決算日 2021年6月14日）

（作成対象期間 2020年12月15日～2021年6月14日）

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／不動産投信（リート）	
信託期間	約10年間（2012年6月27日～2022年6月13日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	円ヘッジコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
	通貨セレクトコース （毎月分配型）	イ. ケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）」の受益証券（円建） ロ. ダイワ・マネースtock・マザーファンドの受益証券
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に、基準価額の水準を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。また、第1計算期末には、収益の分配は行ないません。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、リート（不動産投資信託）への投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築し、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5735>
<5736>

円ヘッジコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
78 期末(2019年 1 月15日)	5,111	80	△ 1.1	17,829	△ 1.4	—	98.4	408
79 期末(2019年 2 月13日)	5,173	80	2.8	19,054	6.9	—	98.4	398
80 期末(2019年 3 月13日)	5,120	80	0.5	19,318	1.4	0.0	98.4	396
81 期末(2019年 4 月15日)	5,091	80	1.0	19,863	2.8	—	98.4	399
82 期末(2019年 5 月13日)	4,998	80	△ 0.3	19,683	△ 0.9	—	98.4	371
83 期末(2019年 6 月13日)	4,983	80	1.3	20,084	2.0	—	98.8	371
84 期末(2019年 7 月16日)	4,939	80	0.7	20,415	1.6	—	98.5	369
85 期末(2019年 8 月13日)	4,888	50	△ 0.0	20,386	△ 0.1	—	98.5	355
86 期末(2019年 9 月13日)	4,885	50	1.0	20,971	2.9	—	98.3	355
87 期末(2019年10月15日)	4,896	50	1.2	21,434	2.2	—	98.1	367
88 期末(2019年11月13日)	4,714	50	△ 2.7	20,998	△ 2.0	—	98.4	359
89 期末(2019年12月13日)	4,635	50	△ 0.6	20,883	△ 0.5	—	98.4	347
90 期末(2020年 1 月14日)	4,635	50	1.1	21,476	2.8	—	98.6	342
91 期末(2020年 2 月13日)	4,693	50	2.3	22,275	3.7	—	98.4	345
92 期末(2020年 3 月13日)	3,627	50	△21.6	16,895	△24.2	—	97.9	268
93 期末(2020年 4 月13日)	3,572	50	△ 0.1	17,070	1.0	—	98.3	267
94 期末(2020年 5 月13日)	3,336	50	△ 5.2	15,635	△ 8.4	—	98.1	252
95 期末(2020年 6 月15日)	3,493	50	6.2	17,632	12.8	—	98.3	266
96 期末(2020年 7 月13日)	3,443	50	0.0	17,079	△ 3.1	—	98.3	264
97 期末(2020年 8 月13日)	3,533	50	4.1	17,981	5.3	—	98.4	271
98 期末(2020年 9 月14日)	3,425	50	△ 1.6	17,620	△ 2.0	—	98.3	266
99 期末(2020年10月13日)	3,481	50	3.1	18,364	4.2	—	96.1	279
100 期末(2020年11月13日)	3,452	50	0.6	18,711	1.9	—	98.0	181
101 期末(2020年12月14日)	3,444	50	1.2	18,979	1.4	—	98.1	175
102 期末(2021年 1 月13日)	3,399	50	0.1	18,896	△ 0.4	—	98.4	171
103 期末(2021年 2 月15日)	3,510	50	4.7	20,210	7.0	—	98.3	178
104 期末(2021年 3 月15日)	3,533	50	2.1	20,824	3.0	—	98.2	166
105 期末(2021年 4 月13日)	3,552	50	2.0	21,403	2.8	—	98.4	162
106 期末(2021年 5 月13日)	3,521	50	0.5	21,610	1.0	—	97.6	162
107 期末(2021年 6 月14日)	3,641	50	4.8	23,680	9.6	—	99.4	168

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

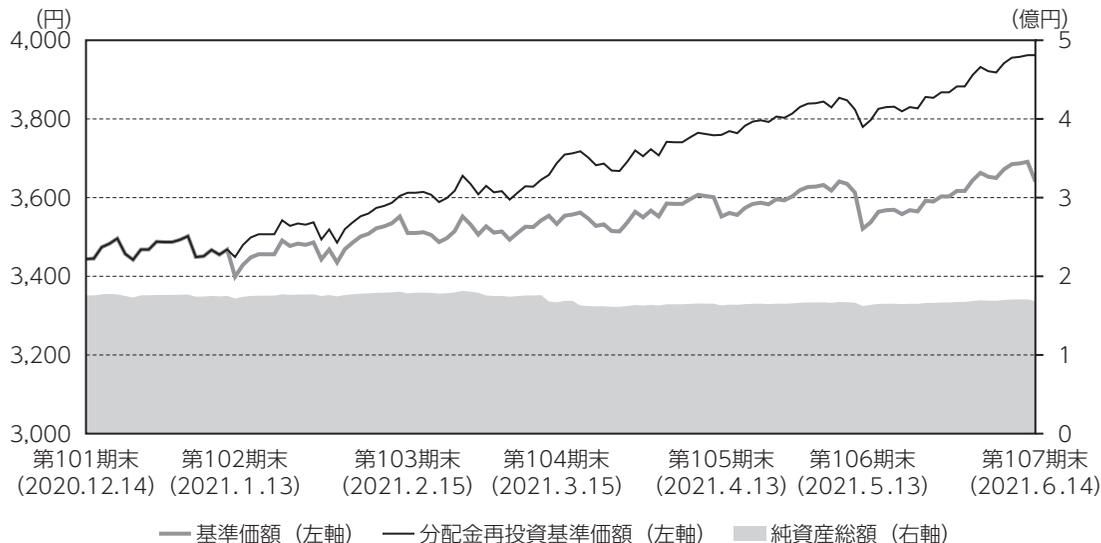
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含まず。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第102期首：3,444円

第107期末：3,641円（既払分配金300円）

騰落率：15.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（円ヘッジクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（円ヘッジクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取

引を組み合わせたカバードコール戦略を構築した結果、先進国リートが上昇したことがプラスに寄与し、上昇しました。しかし、オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（円ヘッジクラス）：
クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ グローバル・リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第102期	(期首) 2020年12月14日	3,444	—	18,979	—	—	98.1
	12月末	3,493	1.4	19,282	1.6	—	97.2
	(期末) 2021年 1 月13日	3,449	0.1	18,896	△0.4	—	98.4
第103期	(期首) 2021年 1 月13日	3,399	—	18,896	—	—	98.4
	1 月末	3,468	2.0	19,602	3.7	—	98.5
	(期末) 2021年 2 月15日	3,560	4.7	20,210	7.0	—	98.3
第104期	(期首) 2021年 2 月15日	3,510	—	20,210	—	—	98.3
	2 月末	3,532	0.6	20,351	0.7	—	98.4
	(期末) 2021年 3 月15日	3,583	2.1	20,824	3.0	—	98.2
第105期	(期首) 2021年 3 月15日	3,533	—	20,824	—	—	98.2
	3 月末	3,567	1.0	21,055	1.1	—	98.2
	(期末) 2021年 4 月13日	3,602	2.0	21,403	2.8	—	98.4
第106期	(期首) 2021年 4 月13日	3,552	—	21,403	—	—	98.4
	4 月末	3,628	2.1	22,219	3.8	—	98.4
	(期末) 2021年 5 月13日	3,571	0.5	21,610	1.0	—	97.6
第107期	(期首) 2021年 5 月13日	3,521	—	21,610	—	—	97.6
	5 月末	3,617	2.7	22,522	4.2	—	98.0
	(期末) 2021年 6 月14日	3,691	4.8	23,680	9.6	—	99.4

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.12.15~2021.6.14)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当作成期首より金融政策や財政刺激策に加え、米国を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展して経済活動の正常化が進んだことが下支えとなり、上昇基調となりました。欧州などの一部地域で、感染再拡大によって再び行動制限が導入されたほか、当作成期の後半には米国長期金利が上昇して市況が弱含む局面もありましたが、当作成期末にかけては、米国長期金利が落ち着きを見せたことなどを受け、再び上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、オランダや米国などが相対的に堅調だった一方で、シンガポールやドイツの上昇率は小幅にとどまりました。現地通貨建てのセクター別では、住宅や商業施設などが大きく上昇した一方で、各種不動産やヘルスケアなどは上昇率が小幅にとどまりました。

■短期金利市況

日本では、日銀が「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続し、短期金利は低位で推移しました。一方、F R B (米国連邦準備制度理事会) は、政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

新型コロナウイルスの感染拡大と行動規制の強化は冬の間も続くと思われませんが、その後はワクチンの実用化と主要各国の財政出動による経済対策によって、力強い経済成長を予想しています。産業施設などのセクターは新型コロナウイルスの影響下においても構造的な成長が期待されます。ただし、オフィスなどの一部セクターでは、行動規制強化を受けて賃料の減免や空室率の上昇が見られており、引き続き注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.15~2021.6.14)

■当ファンド

リートα・ファンド (円ヘッジクラス) とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド (円ヘッジクラス) への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド (円ヘッジクラス)

安定的な配当が見込めて下値抵抗力がある相対的に割安な銘柄を選定し、リートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS & P先進国REIT指数に対して商業施設やホテル/リゾートのウエートを増やしてオーバーウエートとし、産業施設や特殊用途施設などのウエートを引き下げてアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やカナダなどのウエートを引き上げ、シンガポールやオーストラリアなどのウエートを引き下げました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

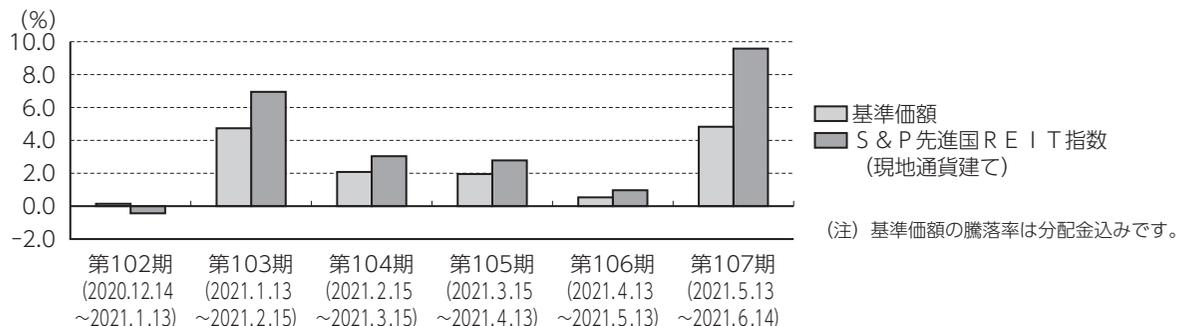
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金(税込み)は下記「分配原資の内訳(1万口当り)」の「当期分配金(税込み)」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程(1万口当り)」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳(1万口当り)

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2020年12月15日 ~2021年1月13日	2021年1月14日 ~2021年2月15日	2021年2月16日 ~2021年3月15日	2021年3月16日 ~2021年4月13日	2021年4月14日 ~2021年5月13日	2021年5月14日 ~2021年6月14日
当期分配金(税込み)(円)	50	50	50	50	50	50
対基準価額比率(%)	1.45	1.40	1.40	1.39	1.40	1.35
当期の収益(円)	42	45	42	44	44	44
当期の収益以外(円)	7	4	7	5	5	5
翌期繰越分配対象額(円)	734	730	723	718	713	707

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程(1万口当り)

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 42.51円	✓ 45.92円	✓ 42.80円	✓ 44.93円	✓ 44.25円	✓ 44.42円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	✓ 742.45	✓ 734.97	✓ 730.89	✓ 723.71	✓ 718.77	✓ 713.03
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	784.97	780.89	773.69	768.64	763.03	757.46
(f) 分配金	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	734.97	730.89	723.69	718.64	713.03	707.46

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（円ヘッジクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（円ヘッジクラス）

米国の大規模な財政政策のほか、世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及などを受け、米国だけでなく欧州などの主要先進国でも景気回復が見られ始めたことが、今後も先進国リート市場を下支えするとみています。一方で、変異型の感染拡大や早期の金融緩和縮小などがリスク材料として挙げられます。また、一部のセクターでは、感染対策の行動制限が解除されつつある中で、賃料の減免や引き下げが依然として見られており、注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2020.12.15～2021.6.14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	24円	0.672%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は3,541円です。
(投 信 会 社)	(8)	(0.219)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0.438)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	24	0.676	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

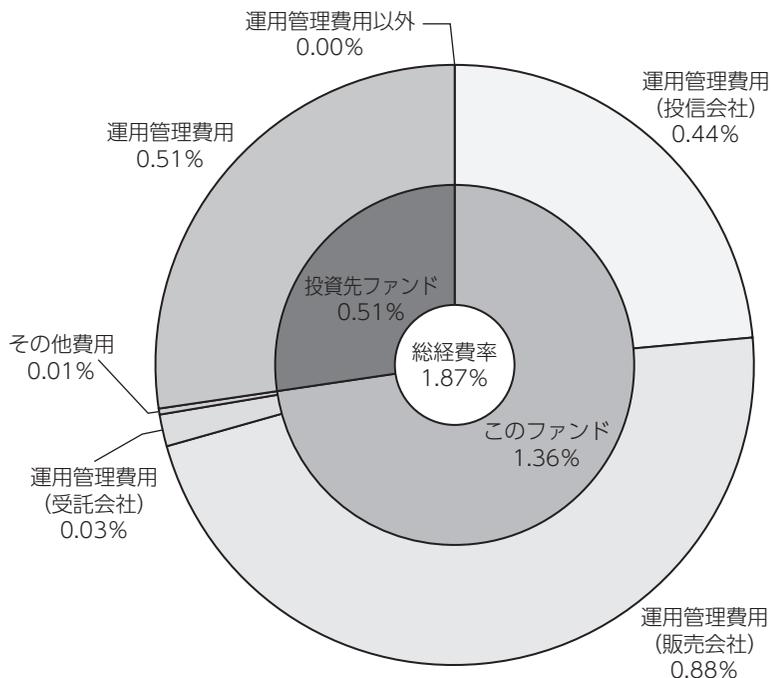
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



総経費率 (①+②+③)	1.87%
①このファンドの費用の比率	1.36%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2020年12月15日から2021年6月14日まで)

決算期	第102期～第107期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国(邦貨建)	528.07674	18,543	995.87017	34,894

(注1) 買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。
(注2) 金額は受渡し代金。
(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
投資信託受益証券

(2020年12月15日から2021年6月14日まで)

第102期				～	第107期			
買付				売付				
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価	
	千口	千円	円		千口	千円	円	
GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	142.69354	5,000	35	GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS (ケイマン諸島)	995.87017	34,894	35	

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第107期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 (ケイマン諸島) GLOBAL REIT ALPHA FUND JPY HEDGED CLASS	千口 4,542.76228	千円 167,509	% 99.4

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第101期末	第107期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	399	399

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月14日現在

項目	第107期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	167,509	98.0
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	399	0.2
コール・ローン等、その他	3,053	1.8
投資信託財産総額	170,962	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース (毎月分配型)

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月13日)、(2021年2月15日)、(2021年3月15日)、(2021年4月13日)、(2021年5月13日)、(2021年6月14日)現在

項目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
(A) 資産	174,356,028円	181,059,411円	178,530,446円	165,414,311円	164,739,360円	170,962,591円
コール・ローン等	5,066,901	5,386,946	14,127,354	4,641,630	5,920,458	3,053,333
投資信託受益証券(評価額)	168,889,645	175,272,983	164,003,610	160,373,239	158,419,460	167,509,816
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	399,482	399,482	399,482	399,442	399,442	399,442
(B) 負債	2,724,633	2,758,731	11,541,012	2,478,031	2,495,072	2,518,173
未払収益分配金	2,524,528	2,539,939	2,363,114	2,293,613	2,304,199	2,313,046
未払解約金	3,445	-	8,991,169	3,590	834	108
未払信託報酬	195,488	216,320	183,155	176,188	184,290	198,084
その他未払費用	1,172	2,472	3,574	4,640	5,749	6,935
(C) 純資産総額(A-B)	171,631,395	178,300,680	166,989,434	162,936,280	162,244,288	168,444,418
元本	504,905,691	507,987,911	472,622,869	458,722,619	460,839,962	462,609,377
次期繰越増損金	△333,274,296	△329,687,231	△305,633,435	△295,786,339	△298,595,674	△294,164,959
(D) 受益権総口数	504,905,691口	507,987,911口	472,622,869口	458,722,619口	460,839,962口	462,609,377口
1万口当り基準価額(C/D)	3,399円	3,510円	3,533円	3,552円	3,521円	3,641円

*第101期末における元本額は510,226,355円、当作成期間(第102期~第107期)中における追加設定元本額は23,020,723円、同解約元本額は70,637,701円です。

*第107期末の計算口数当りの純資産額は3,641円です。

*第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は294,164,959円です。

■損益の状況

第102期 自2020年12月15日 至2021年1月13日 第105期 自2021年3月16日 至2021年4月13日
 第103期 自2021年1月14日 至2021年2月15日 第106期 自2021年4月14日 至2021年5月13日
 第104期 自2021年2月16日 至2021年3月15日 第107期 自2021年5月14日 至2021年6月14日

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(A) 配当等収益	2,343,164円	2,395,123円	2,130,516円	2,177,403円	2,224,987円	2,107,082円
受取配当金	2,343,220	2,395,148	2,130,567	2,177,461	2,225,012	2,107,155
受取利息	2	1	-	1	-	-
支払利息	△ 58	△ 26	△ 51	△ 59	△ 25	△ 73
(B) 有価証券売買損益	△ 1,898,913	5,978,399	1,518,840	1,147,747	△ 1,190,534	5,981,866
売買益	3,421	5,979,038	1,620,204	1,170,896	28,122	5,982,801
売買損	△ 1,902,334	△ 639	△ 101,364	△ 23,149	△ 1,218,656	△ 935
(C) 信託報酬等	△ 196,660	△ 217,620	△ 184,257	△ 177,254	△ 185,399	△ 199,276
(D) 当期損益(A+B+C)	247,591	8,155,902	3,465,099	3,147,896	849,054	7,889,672
(E) 前期繰越増損金	△191,412,303	△193,252,661	△173,452,342	△165,399,837	△163,932,284	△165,067,622
(F) 追加信託差増損金	△139,585,056	△142,050,533	△133,283,078	△131,240,785	△133,208,245	△134,673,963
(配当等相当額)	(37,487,151)	(37,335,672)	(34,543,806)	(33,198,320)	(33,124,170)	(32,985,853)
(売買損益相当額)	(△177,072,207)	(△179,386,205)	(△167,826,884)	(△164,439,105)	(△166,332,415)	(△167,659,816)
(G) 合計(D+E+F)	△330,749,768	△327,147,292	△303,270,321	△293,492,726	△296,291,475	△291,851,913
(H) 収益分配金	△ 2,524,528	△ 2,539,939	△ 2,363,114	△ 2,293,613	△ 2,304,199	△ 2,313,046
次期繰越増損金(G+H)	△333,274,296	△329,687,231	△305,633,435	△295,786,339	△298,595,674	△294,164,959
追加信託差増損金	△139,963,085	△142,257,590	△133,623,248	△131,473,065	△133,472,859	△134,931,844
(配当等相当額)	(37,109,122)	(37,128,615)	(34,203,636)	(32,966,040)	(32,859,556)	(32,727,972)
(売買損益相当額)	(△177,072,207)	(△179,386,205)	(△167,826,884)	(△164,439,105)	(△166,332,415)	(△167,659,816)
繰越増損金	△193,311,211	△187,429,641	△172,010,187	△164,313,274	△165,122,815	△159,233,115

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差増損金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(a) 経費控除後の配当等収益	2,146,499円	2,332,882円	2,022,944円	2,061,333円	2,039,585円	2,055,165円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	37,487,151	37,335,672	34,543,806	33,198,320	33,124,170	32,985,853
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	39,633,650	39,668,554	36,566,750	35,259,653	35,163,755	35,041,018
(f) 分配金	2,524,528	2,539,939	2,363,114	2,293,613	2,304,199	2,313,046
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	37,109,122	37,128,615	34,203,636	32,966,040	32,859,556	32,727,972
(h) 受益権総口数	504,905,691口	507,987,911口	472,622,869口	458,722,619口	460,839,962口	462,609,377口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
1 万 口 当 り 分 配 金	50円	50円	50円	50円	50円	50円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

通貨セレクトコース (毎月分配型)

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			S&P先進国REIT指数 (現地通貨建て)		公社債 組入比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
78 期末(2019年 1 月15日)	円 2,882	円 50	% △ 3.1	17,829	% △ 1.4	% -	% 98.4	百万円 3,193
79 期末(2019年 2 月13日)	3,018	50	6.5	19,054	6.9	-	98.4	3,273
80 期末(2019年 3 月13日)	3,003	50	1.2	19,318	1.4	0.0	98.3	3,234
81 期末(2019年 4 月15日)	3,040	50	2.9	19,863	2.8	-	98.6	3,234
82 期末(2019年 5 月13日)	2,879	50	△ 3.7	19,683	△ 0.9	-	98.5	3,039
83 期末(2019年 6 月13日)	2,912	50	2.9	20,084	2.0	-	98.6	2,872
84 期末(2019年 7 月16日)	2,932	50	2.4	20,415	1.6	-	98.3	2,863
85 期末(2019年 8 月13日)	2,815	50	△ 2.3	20,386	△ 0.1	-	98.6	2,720
86 期末(2019年 9 月13日)	2,867	50	3.6	20,971	2.9	-	98.5	2,776
87 期末(2019年10月15日)	2,870	50	1.8	21,434	2.2	-	98.4	2,775
88 期末(2019年11月13日)	2,791	50	△ 1.0	20,998	△ 2.0	-	98.3	2,679
89 期末(2019年12月13日)	2,763	50	0.8	20,883	△ 0.5	-	98.6	2,636
90 期末(2020年 1 月14日)	2,791	50	2.8	21,476	2.8	-	98.8	2,709
91 期末(2020年 2 月13日)	2,794	50	1.9	22,275	3.7	-	97.9	2,269
92 期末(2020年 3 月13日)	1,870	30	△32.0	16,895	△24.2	-	98.0	1,510
93 期末(2020年 4 月13日)	1,827	30	△ 0.7	17,070	1.0	-	98.2	1,471
94 期末(2020年 5 月13日)	1,666	30	△ 7.2	15,635	△ 8.4	-	98.3	1,320
95 期末(2020年 6 月15日)	1,801	30	9.9	17,632	12.8	-	98.4	1,420
96 期末(2020年 7 月13日)	1,772	30	0.1	17,079	△ 3.1	-	98.4	1,377
97 期末(2020年 8 月13日)	1,777	30	2.0	17,981	5.3	-	98.4	1,374
98 期末(2020年 9 月14日)	1,723	30	△ 1.4	17,620	△ 2.0	-	98.5	1,324
99 期末(2020年10月13日)	1,718	30	1.5	18,364	4.2	-	99.2	1,313
100 期末(2020年11月13日)	1,731	30	2.5	18,711	1.9	-	98.7	1,316
101 期末(2020年12月14日)	1,721	30	1.2	18,979	1.4	-	98.7	1,284
102 期末(2021年 1 月13日)	1,734	30	2.5	18,896	△ 0.4	-	98.4	1,287
103 期末(2021年 2 月15日)	1,852	30	8.5	20,210	7.0	-	98.6	1,360
104 期末(2021年 3 月15日)	1,887	20	3.0	20,824	3.0	-	98.8	1,379
105 期末(2021年 4 月13日)	1,871	20	0.2	21,403	2.8	-	98.5	1,333
106 期末(2021年 5 月13日)	1,898	20	2.5	21,610	1.0	-	98.5	1,279
107 期末(2021年 6 月14日)	2,020	20	7.5	23,680	9.6	-	99.5	1,331

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 先進国REIT指数 (現地通貨建て) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

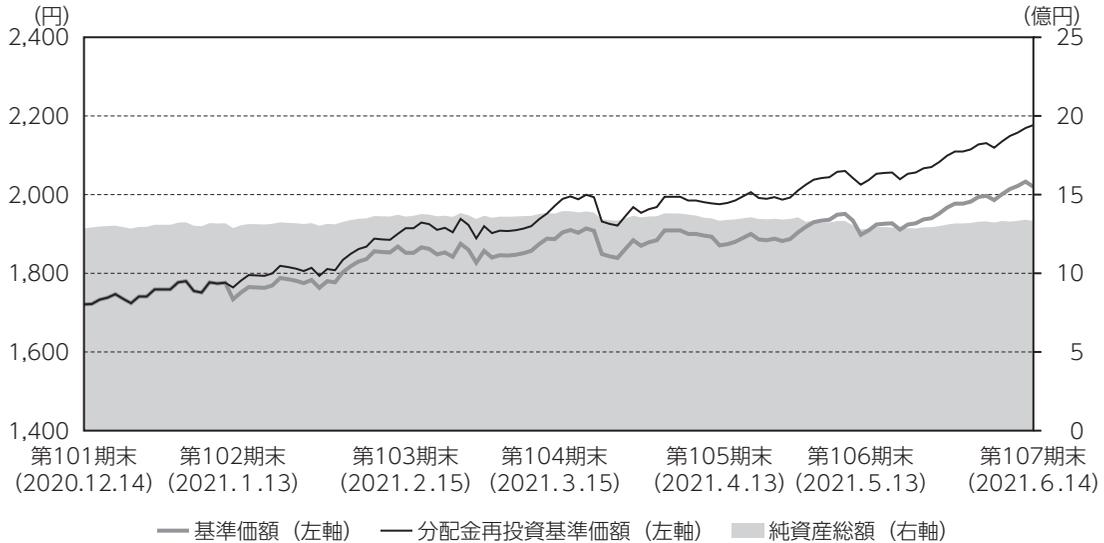
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第102期首：1,721円

第107期末：2,020円（既払分配金140円）

騰落率：26.5%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）の上昇がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）については、先進国のリートへの投資とオプション取引を組み合わせたカバードコール戦略を構築するとともに、原資産通貨売り／選定

通貨買いの為替取引を活用した結果、先進国リートが上昇したことや選定通貨が対円で上昇（円安）したこと、為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）がプラスに寄与し、上昇しました。しかし、オプション取引はマイナス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）：クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース (毎月分配型)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P先進国REIT指数 (現地通貨建て) (参考指数)		公 社 債 率 組 入 比	投 資 信 託 受 益 証 券 組 入 比 率
		円	騰 落 率 %	騰 落 率 %	騰 落 率 %		
第102期	(期首) 2020年12月14日	1,721	—	18,979	—	—	98.7
	12月末	1,777	3.3	19,282	1.6	—	97.3
	(期末) 2021年 1 月13日	1,764	2.5	18,896	△0.4	—	98.4
第103期	(期首) 2021年 1 月13日	1,734	—	18,896	—	—	98.4
	1 月末	1,780	2.7	19,602	3.7	—	99.1
	(期末) 2021年 2 月15日	1,882	8.5	20,210	7.0	—	98.6
第104期	(期首) 2021年 2 月15日	1,852	—	20,210	—	—	98.6
	2 月末	1,860	0.4	20,351	0.7	—	98.4
	(期末) 2021年 3 月15日	1,907	3.0	20,824	3.0	—	98.8
第105期	(期首) 2021年 3 月15日	1,887	—	20,824	—	—	98.8
	3 月末	1,879	△0.4	21,055	1.1	—	98.6
	(期末) 2021年 4 月13日	1,891	0.2	21,403	2.8	—	98.5
第106期	(期首) 2021年 4 月13日	1,871	—	21,403	—	—	98.5
	4 月末	1,930	3.2	22,219	3.8	—	98.7
	(期末) 2021年 5 月13日	1,918	2.5	21,610	1.0	—	98.5
第107期	(期首) 2021年 5 月13日	1,898	—	21,610	—	—	98.5
	5 月末	1,977	4.2	22,522	4.2	—	98.7
	(期末) 2021年 6 月14日	2,040	7.5	23,680	9.6	—	99.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2020.12.15~2021.6.14)

■先進国リート市況

先進国リート市況は上昇しました。

先進国リート市況は、当作成期首より金融政策や財政刺激策に加え、米国を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が進展して経済活動の正常化が進んだことが下支えとなり、上昇基調となりました。欧州などの一部地域で、感染再拡大によって再び行動制限が導入されたほか、当作成期の後半には米国長期金利が上昇して市況が弱含む局面もありましたが、当作成期末にかけては、米国長期金利が落ち着きを見せたことなどを受け、再び上昇しました。

国別の現地通貨建ての騰落率を見ると、オランダや米国などが相対的に堅調だった一方で、シンガポールやドイツの上昇率は小幅にとどまりました。現地通貨建てのセクター別では、住宅や商業施設などが大きく上昇した一方で、各種不動産やヘルスケアなどは上昇率が小幅にとどまりました。

■為替相場

選定通貨（※）は対円でおおむね上昇しました。

新型コロナウイルスに対する懸念が後退したことや、米国の追加経済対策への期待が高まったことなどから、市場のリスク選好度が強まり、選定通貨は対円でおおむね上昇しました。一方で、トルコ・リラは中央銀行総裁の解任などが懸念され、対円で下落しました。

当作成期における選定通貨の値動きは、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、メキシコ・ペソ、ロシア・ルーブル、ルーマニア・レイ、中国・人民元、南アフリカ・ランドは対円で上昇しました。一方で、トルコ・リラは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。米国では政策金利の誘導目標レンジを0.00~0.25%で据え置きました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

新型コロナウイルスの感染拡大と行動規制の強化は冬の間も続くと思われませんが、その後はワクチンの実用化と主要各国の財政出動による経済対策によって、力強い経済成長を予想しています。産業施設などのセクターは新型コロナウイルスの影響下においても構造的な成長が期待されます。ただし、オフィスなどの一部セクターでは、行動規制強化を受けて賃料の減免や空室率の上昇が見られており、引き続き注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよびJ P モルガン ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2020.12.15～2021.6.14)

■当ファンド

リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資しました。リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持しました。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

安定的な配当が見込めて下値抵抗がある相対的に割安な銘柄を選定し、リーートのバリュエーションやオプション取引価格等を考慮して、リートポートフォリオを構築しました。現物リートポートフォリオ部分については、セクター別で見ると、参考指数であるS & P 先進国R E I T 指数に対して商業施設やホテル／リゾートのウエートを増やしてオーバーウエートとし、産業施設や特殊用途施設などのウエートを引き下げてアンダーウエートとしました。国別で見ると、堅調なファンダメンタルズと安定した配当利回りの見通しを背景に米国やカナダなどのウエートを引き上げ、シンガポールやオーストラリ

アなどのウエートを引き下げました。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築しました。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー収益が享受できる通貨を毎月6通貨選定し、運用を行いました。また、選定通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

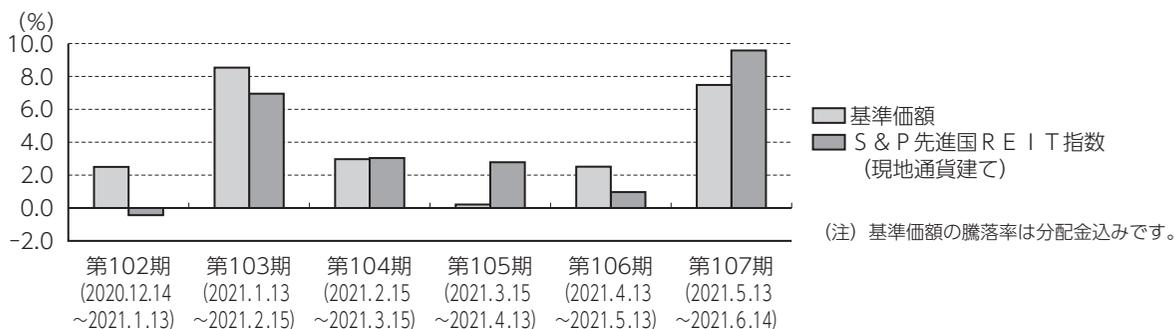
■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。当ファンドはカバードコール戦略を構築していますので、オプション取引要因は参考指数との差異の要因に含まれます。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
	2020年12月15日 ～2021年1月13日	2021年1月14日 ～2021年2月15日	2021年2月16日 ～2021年3月15日	2021年3月16日 ～2021年4月13日	2021年4月14日 ～2021年5月13日	2021年5月14日 ～2021年6月14日
当期分配金（税込み）（円）	30	30	20	20	20	20
対基準価額比率（%）	1.70	1.59	1.05	1.06	1.04	0.98
当期の収益（円）	30	30	20	20	20	20
当期の収益以外（円）	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額（円）	3,016	3,018	3,032	3,048	3,063	3,081

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 30.24円	✓ 32.35円	✓ 34.17円	✓ 35.19円	✓ 35.77円	✓ 37.81円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	2,639.79	2,641.50	2,644.64	2,645.77	2,646.89	2,648.13
(d) 分配準備積立金	376.12	374.66	374.01	387.05	401.14	415.68
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	3,046.16	3,048.52	3,052.83	3,068.03	3,083.81	3,101.62
(f) 分配金	30.00	30.00	20.00	20.00	20.00	20.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,016.16	3,018.52	3,032.83	3,048.03	3,063.81	3,081.62

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

引き続き、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）とダイワ・マネースtock・マザーファンドに投資します。また、リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。

■リートα・ファンド（通貨セレクトクラス）

米国の大規模な財政政策のほか、世界的な新型コロナウイルスワクチンの普及などを受け、米国だけでなく欧州などの主要先進国でも景気回復が見られ始めたことが、今後も先進国リート市場を下支えするとみています。一方で、変異型の感染拡大や早期の金融緩和縮小などがリスク材料として挙げられます。また、一部のセクターでは、感染対策の行動制限が解除されつつある中で、賃料の減免や引き下げが依然として見られており、注意が必要です。

個別銘柄ごとに、価格の方向性に基づき、保有株数の一部または全部にかかるコール・オプションを売却することでカバードコール戦略を構築します。

原資産通貨売り／選定通貨買いの為替取引を活用して、選定通貨で実質的な運用を行います。選定通貨については原則として、F T S E 世界国債インデックスおよび J P モルガン ガバメント・ボンド・インデックスーエマーGING・マーケットツ ブロードの構成国の通貨の中から、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を考慮し、6つの通貨を選定します。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	第102期～第107期 (2020.12.15～2021.6.14)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	12円	0.668%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,862円です。
(投 信 会 社)	(4)	(0.217)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(8)	(0.437)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	0	0.003	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(投 資 信 託 受 益 証 券)	(0)	(0.003)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	0	0.003	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	13	0.675	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

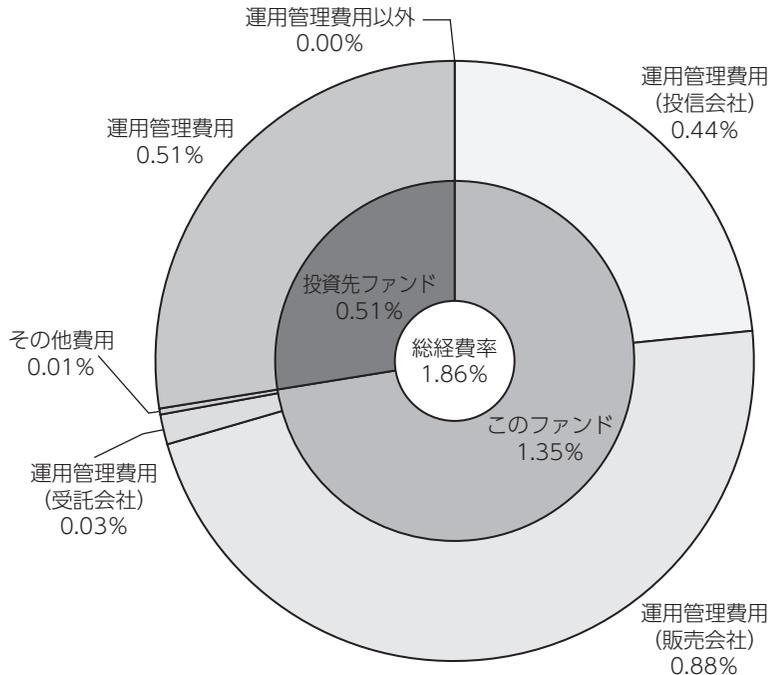
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86%です。



総経費率 (①+②+③)	1.86%
①このファンドの費用の比率	1.35%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.00%

(注1) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況

投資信託受益証券

（2020年12月15日から2021年6月14日まで）

決算期	第102期～第107期			
	買付		売付	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
外国（邦貨建）	7,919.41261	153,218	13,398.52848	263,199

（注1）買付は、外国投資信託から支払われた分配金による再投資分を含みます。

（注2）金額は受渡し代金。

（注3）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

投資信託受益証券

（2020年12月15日から2021年6月14日まで）

第102期				第107期			
買付		売付		買付		売付	
銘柄	□数	金額	平均単価	銘柄	□数	金額	平均単価
	千口	千円	円		千口	千円	円
				GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS（ケイマン諸島）	13,398.52848	263,199	19

（注1）金額は受渡し代金。

（注2）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第107期末		
	□数	評価額	比率
外国投資信託受益証券 （ケイマン諸島） GLOBAL REIT ALPHA FUND CURRENCY SELECT CLASS	千口 63,243.06381	千円 1,325,384	% 99.5

（注1）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。

（注2）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	第101期末	第107期末	
	□数	□数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	99	99

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2021年6月14日現在

項目	第107期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,325,384	98.4
ダイワ・マネースtock・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	21,640	1.6
投資信託財産総額	1,347,124	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2021年1月13日)、(2021年2月15日)、(2021年3月15日)、(2021年4月13日)、(2021年5月13日)、(2021年6月14日)現在

項目	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末	第107期末
(A) 資産	1,311,559,977円	1,384,499,993円	1,402,514,292円	1,361,786,315円	1,312,903,571円	1,347,124,937円
コール・ローン等	43,871,437	43,734,789	40,212,907	48,730,411	53,291,949	21,640,189
投資信託受益証券(評価額)	1,267,588,670	1,340,665,334	1,362,201,515	1,312,956,044	1,259,511,762	1,325,384,888
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	99,870	99,870	99,870	99,860	99,860	99,860
(B) 負債	23,919,796	24,235,395	23,327,251	28,496,081	33,834,660	15,197,481
未払収益分配金	22,282,333	22,035,972	14,621,363	14,254,097	13,475,780	13,186,940
未払解約金	174,505	554,090	7,260,210	12,734,726	18,827,156	404,049
未払信託報酬	1,454,109	1,626,581	1,418,292	1,470,872	1,486,290	1,551,657
その他未払費用	8,849	18,752	27,386	36,386	45,434	54,835
(C) 純資産総額(A-B)	1,287,640,181	1,360,264,598	1,379,187,041	1,333,290,234	1,279,068,911	1,331,927,456
元本	7,427,444,484	7,345,324,218	7,310,681,728	7,127,048,706	6,737,890,352	6,593,470,265
次期繰越増損金	△6,139,804,303	△5,985,059,620	△5,931,494,687	△5,793,758,472	△5,458,821,441	△5,261,542,809
(D) 受益権総口数	7,427,444,484口	7,345,324,218口	7,310,681,728口	7,127,048,706口	6,737,890,352口	6,593,470,265口
1万口当り基準価額(C/D)	1,734円	1,852円	1,887円	1,871円	1,898円	2,020円

*第101期末における元本額は7,463,665,387円、当作成期間(第102期～第107期)中における追加設定元本額は194,466,123円、同解約元本額は1,064,661,245円です。

*第107期末の計算口数当りの純資産額は2,020円です。

*第107期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は5,261,542,809円です。

■損益の状況

第102期 自2020年12月15日 至2021年1月13日 第105期 自2021年3月16日 至2021年4月13日
 第103期 自2021年1月14日 至2021年2月15日 第106期 自2021年4月14日 至2021年5月13日
 第104期 自2021年2月16日 至2021年3月15日 第107期 自2021年5月14日 至2021年6月14日

項目	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期	第107期
(A) 配当等収益	23,513,548円	24,119,494円	25,873,480円	26,564,883円	25,231,416円	25,347,343円
受取配当金	23,513,909	24,119,787	25,873,939	26,565,186	25,231,910	25,347,928
受取利息	14	6	3	-	-	-
支払利息	△ 375	△ 299	△ 462	△ 303	△ 494	△ 585
(B) 有価証券売買損益	9,331,185	86,394,856	15,544,964	△ 22,087,567	8,318,608	69,663,777
売買益	9,404,505	86,677,139	15,717,806	471,646	8,923,209	70,183,106
売買損	△ 73,320	△ 282,283	△ 172,842	△ 22,559,213	△ 604,601	△ 519,329
(C) 信託報酬等	△ 1,462,958	△ 1,636,484	△ 1,426,926	△ 1,479,872	△ 1,495,338	△ 1,561,105
(D) 当期損益金(A+B+C)	31,381,775	108,877,866	39,991,518	2,997,444	32,054,686	93,450,015
(E) 前期繰越増損金	△4,799,248,617	△4,715,663,848	△4,570,327,467	△4,417,914,901	△4,175,728,715	△4,056,014,266
(F) 追加信託差損益金	△1,349,655,128	△1,356,237,666	△1,386,537,375	△1,364,586,918	△1,301,671,632	△1,285,791,618
(配当等相当額)	(1,960,690,951)	(1,940,273,108)	(1,933,414,594)	(1,885,657,610)	(1,783,446,127)	(1,746,036,774)
(売買損益相当額)	(△3,310,346,079)	(△3,296,510,774)	(△3,319,951,969)	(△3,250,244,528)	(△3,085,117,759)	(△3,031,828,392)
(G) 合計(D+E+F)	△6,117,521,970	△5,963,023,648	△5,916,873,324	△5,779,504,375	△5,445,345,661	△5,248,355,869
(H) 収益分配金	△ 22,282,333	△ 22,035,972	△ 14,621,363	△ 14,254,097	△ 13,475,780	△ 13,186,940
次期繰越増損金(G+H)	△6,139,804,303	△5,985,059,620	△5,931,494,687	△5,793,758,472	△5,458,821,441	△5,261,542,809
追加信託差損益金	△1,349,655,128	△1,356,237,666	△1,386,537,375	△1,364,586,918	△1,301,671,632	△1,285,791,618
(配当等相当額)	(1,960,690,951)	(1,940,273,108)	(1,933,414,594)	(1,885,657,610)	(1,783,446,127)	(1,746,036,774)
(売買損益相当額)	(△3,310,346,079)	(△3,296,510,774)	(△3,319,951,969)	(△3,250,244,528)	(△3,085,117,759)	(△3,031,828,392)
分配準備積立金	279,550,677	276,930,188	283,791,335	286,689,606	280,915,854	285,825,604
繰越増損金	△5,069,699,852	△4,905,752,142	△4,828,748,647	△4,715,861,160	△4,438,065,663	△4,261,576,795

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
(a) 経費控除後の配当等収益	22,466,216円	23,762,413円	24,982,079円	25,085,011円	24,106,772円	24,930,840円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	1,960,690,951	1,940,273,108	1,933,414,594	1,885,657,610	1,783,446,127	1,746,036,774
(d) 分配準備積立金	279,366,794	275,203,747	273,430,619	275,858,692	270,284,862	274,081,704
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	2,262,523,961	2,239,239,268	2,231,827,292	2,186,601,313	2,077,837,761	2,045,049,318
(f) 分配金	22,282,333	22,035,972	14,621,363	14,254,097	13,475,780	13,186,940
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	2,240,241,628	2,217,203,296	2,217,205,929	2,172,347,216	2,064,361,981	2,031,862,378
(h) 受益権総口数	7,427,444,484口	7,345,324,218口	7,310,681,728口	7,127,048,706口	6,737,890,352口	6,593,470,265口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
	第 102 期	第 103 期	第 104 期	第 105 期	第 106 期	第 107 期
1 万 口 当 り 分 配 金	30円	30円	20円	20円	20円	20円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド
円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））はケイマン籍の外国投資信託「クレディ・スイス・ユニバーサル・トラスト（ケイマン）Ⅱ－グローバル・リートα・ファンド 円ヘッジクラス／通貨セレクトクラス」に投資しておりますが、以下の内容はすべてのクラスを合算しております。

（注）2021年6月14日時点で入手しうる直近の状況を掲載しております。

貸借対照表

2020年2月29日

	(円)
資産	
担保付スワップ投資の評価額（簿価： 12,868,543,825円）	6,782,602,117
デリバティブ金融商品の評価額	121,232,956
未収利息	1,368,123
資産合計	6,905,203,196
負債	
デリバティブ金融商品の評価額	138,702,321
未払報酬代行会社報酬	1,368,123
負債合計	140,070,444
換金可能受益証券の所有者に帰属する純資産	6,765,132,752
下記に属する純資産：	
ノンヘッジクラス受益証券	1,678,486,264
円ヘッジクラス受益証券	3,147,754,824
通貨セレクトクラス受益証券	1,938,891,664
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－
下記に属する発行済受益証券口数：	
ノンヘッジクラス受益証券	28,862,488.06
円ヘッジクラス受益証券	74,343,286.86
通貨セレクトクラス受益証券	73,564,087.84
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－
下記に属する受益証券一口当り純資産額：	
ノンヘッジクラス受益証券	58.154
円ヘッジクラス受益証券	42.340
通貨セレクトクラス受益証券	26.356
固定分配クラス（ノンヘッジ）受益証券	－
固定分配クラス（円ヘッジ）受益証券	－

包括利益計算書

2020年2月29日に終了した会計年度

(円)

収益	
時価による損益通算後の金融商品からの収益	
手数料収入	1,406,881,667
担保付スワップ投資による損益	(1,241,539,519)
デリバティブの損益	(16,801,112)
	<u>148,541,036</u>
収益合計	<u>148,541,036</u>
営業費用	46,363,682
営業費用合計	<u>46,363,682</u>
営業利益（金融費用控除前および控除後を含む）	102,177,354
換金可能受益証券の保有者への分配金	(1,360,517,985)
分配金支払後の換金可能受益証券の保有者に帰属する純資産の変動	<u><u>(1,258,340,631)</u></u>

デリバティブ金融商品（為替先渡取引）

2020年2月29日時点での建玉残高

決済日	取引数	受取（評価益） （円）	支払（評価損） （円）	差引評価額 （円）
2020年3月11日	12	37,257,635	(120,996,224)	(83,738,589)
2020年3月26日	28	83,975,321	(17,706,097)	66,269,224
評価額合計		<u>121,232,956</u>	<u>(138,702,321)</u>	<u>(17,469,365)</u>

<補足情報>

当ファンド（通貨選択型ダイワ先進国リートα 円ヘッジコース（毎月分配型）／通貨セレクトコース（毎月分配型））が投資対象としている「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」の決算日（2020年12月9日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第107期の決算日（2021年6月14日）現在におけるダイワ・マネースtock・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンドの主要な売買銘柄

2020年12月15日～2021年6月14日における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

2021年6月14日現在、有価証券等の組み入れはありません。

ダイワ・マネースtock・マザーファンド

運用報告書 第11期 (決算日 2020年12月9日)

(作成対象期間 2019年12月10日～2020年12月9日)

ダイワ・マネースtock・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

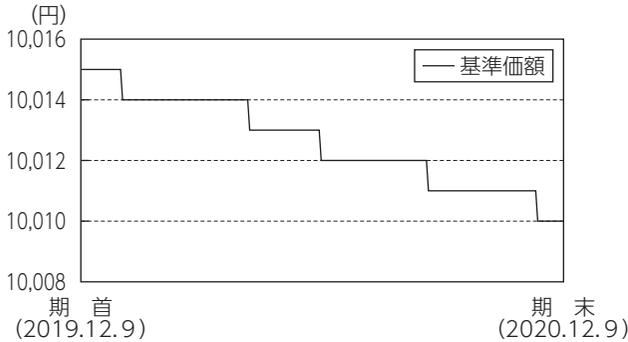
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 率
	騰 落 率	組 入 比 率	
(期首)2019年12月9日	円	%	%
12月 末	10,015	-	-
2020年 1月 末	10,014	△0.0	-
2月 末	10,014	△0.0	-
3月 末	10,014	△0.0	-
4月 末	10,013	△0.0	-
5月 末	10,013	△0.0	-
6月 末	10,012	△0.0	-
7月 末	10,012	△0.0	-
8月 末	10,011	△0.0	-
9月 末	10,011	△0.0	-
10月 末	10,011	△0.0	-
11月 末	10,010	△0.0	-
(期末)2020年12月9日	10,010	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,015円 期末：10,010円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 88,460,615	% 100.0
投資信託財産総額	88,460,615	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年12月9日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	88,460,615,301円
コール・ローン等	88,460,615,301
(B) 負債	50,000,000
未払解約金	50,000,000
(C) 純資産総額(A - B)	88,410,615,301
元本	88,319,921,795
次期繰越損益金	90,693,506
(D) 受益権総口数	88,319,921,795口
1万口当り基準価額(C/D)	10,010円

* 期首における元本額は103,532,314,258円、当作成期間中における追加設定元本額は103,255,612,211円、同解約元本額は118,468,004,674円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック-947,268円、ダイワ/ミレリアセット・インド株ファンド - インドの匠-29,910,270円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジあり) 998円、ワールド・フィンテック革命ファンド(為替ヘッジなし) 998円、新興国ソブリン・豪ドルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ブラジルレアルファンド(毎月決算型) 999円、新興国ソブリン・ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 999円、US短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/毎月決算型) 102,434円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (為替ヘッジあり) 39,849円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) - (為替ヘッジあり) 3,985円、iFreeレパレッジ S & P 500 1,249,412,852円、iFreeレパレッジ N A S D A Q 100 11,006,295,149円、米国4資産リスク分散ファンド(年2回決算型) 689,912円、グリーンテック株式ファンド(資産成長型) 998,802円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド - ロボテック (毎月決算/予想分配金提示型) 999円、ダイワ上場投信-日経平均レパレッジ・インデックス2,927,475,552円、ダイワ上場投信-日経平均ダブルインバース・インデックス6,683,086,104円、ダイワ上場投信-TOP I Xレパレッジ(2倍) 指数1,085,050,377円、ダイワ上場投信-TOP I Xダブルインバース(-2倍) 指数1,226,094,880円、ダイワ上場投信-日経平均インバース・インデックス25,058,858,800円、ダイワ上場投信-TOP I Xインバース(-1倍) 指数11,170,317,850円、ダイワ上場投信-J P X日経400レパレッジ・インデックス387,469,071円、ダイワ上場投信-J P X日経400インバース・インデックス611,537,975円、ダイワ上場投信-J P X日経400ダブルインバース・インデックス141,884,108円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-07 997円、ダイワ米国投資法人債ファンド(為替ヘッジあり) 2016-10 997円、先進国トータルリターン戦略ファンド(リスク抑制型/適格機関投資家専用) 6,988,339,549円、ダイワ日本株ベア・ファンド(適格機関投資家専用) 19,374,063,390円、低リスク型アロケーションファンド(金利トレンド判断付き/適格機関投資家専用) 179,433,743円、ダイワ日本国債15-20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - S Lトレード-5,091,608円、ダイワ/ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ149,382,442円、ダイワ・アセアン内需関連株ファンド・マネー・ポートフォリオ5,609,419円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 豪ドル・コース(毎月分配型) 595,106円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 987,373円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンドII 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 494,581円、ダイワUS短期ハイ・イールド社債ファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型) 9,957円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ米国バンクローン・オープン(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり) 997円、ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジなし) 997円、ダイワ/ミレリアセット・細細株株式ファンド9,958,176円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 米ドル・コース1,989,053円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) ブラジル・レアル・コース2,978,118円、通貨選択型ダイワ/ミレリアセット・グローバル好配当株α(毎月分配型) 通貨セレクト・コース1,691,241円、ロボット・テクノロジー関連株ファンド(年1回決算型) - ロボテック(年1回) -100,588円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジあり(毎月分配型) 399,083円、ダイワ先進国リートα 為替ヘッジなし(毎月分配型) 99,771円、通貨選択型ダイワ先進

国リートα 円ヘッジコース(毎月分配型) 399,083円、通貨選択型ダイワ先進国リートα 通貨セレクトコース(毎月分配型) 99,771円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジあり) 1,091,429円、ダイワ/ミレリアセット・グローバル・グレートコンシューマー株式ファンド(為替ヘッジなし) 315,004円、ダイワ/ミレリアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド10,009,811円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 日本円・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 豪ドル・コース(毎月分配型) 99,691円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- ブラジル・レアル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 米ドル・コース(毎月分配型) 398,764円、ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型) - ジャパン・トリプルリターンズ- 通貨セレクト・コース(毎月分配型) 1,993,820円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 日本円・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 豪ドル・コース200,861円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 ブラジル・レアル・コース300,273円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 米ドル・コース1,999,177円、通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイII - 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース505,900円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,010円です。

■損益の状況

当期 自2019年12月10日 至2020年12月9日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 34,974,173円
受取利息	1,075,374
支払利息	△ 36,049,547
(B) その他費用	△ 1,522,123
(C) 当期損益金(A + B)	△ 36,496,296
(D) 前期繰越損益金	156,051,230
(E) 解約差損益金	△161,476,434
(F) 追加信託差損益金	132,615,006
(G) 合計(C + D + E + F)	90,693,506
次期繰越損益金(G)	90,693,506

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。